



みやこ



**ご成人、誠におめでとうございます！
夢や希望、勇気をもって羽ばたいて下さい！
平成27年1月11日 成人式**

もくじ

- 「12月定例議会 結果を報告」 2~7P
- 「議会の活動報告」 8~10P
- 13名の議員が町政を問う！
- 「一般質問」 11~23P
- 町内の頑張っている団体を紹介！
- 「がんばっちょる」 24P

平成26年第7回みやこ町議会定例会を12月2日から12月12日までの11日間にわたり開催しました。町長から52件の議案、また、議員から5件の意見書(案)等が提出されましたので、結果について報告します。

平成26年第7回定例議会議案議決結果及び議員別議案賛否一覧表

議案名	議員名														議決結果	
	橋本真助	柿野正喜	中山茂樹	小田勝彦	田中勝馬	飯本秀夫	中尾昌廣	金房眞悟	大束英壽	柿野義直	熊谷みえ子	原田和美	中尾文俊	肥喜里和隆		浦山公明
専決処分の承認を求めること (平成26年度みやこ町一般会計補正予算(第4号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	承認
人権擁護委員の推薦につき意見を求めること (浦田農二男氏、和田佳代子氏、岸上光男氏、宮脇繁紀氏を推薦)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	適任
権利の放棄(みやこ町住宅新築資金等貸付金に係る債権)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町集会所条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
みやこ町行政財産使用料条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
みやこ町伊良原コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
みやこ町隣保館条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
みやこ町活性化センター条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
みやこ町総合観光案内所条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
みやこ町森林総合利用施設設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
みやこ町営住宅条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町伊良原定住促進住宅条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町若者向け賃貸住宅条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町葬斎場及び霊柩自動車条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
みやこ町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
みやこ町学習等供用施設条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
みやこ町公民館の設置及び運営管理並びに公民館運営審議会の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
みやこ町体育施設の設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
みやこ町B & G海洋センター条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
みやこ町歴史民俗博物館条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
みやこ町総合文化センター条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
みやこ町立小学校及び中学校屋内運動場使用料条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決

議長は、採決に加わらない。○は賛成、×は反対、欠は欠席。

3 みやこ町議会だより 第38号

議案名	議員名														議決結果	
	橋本 真助	柿野 正喜	中山 茂樹	小田 勝彦	田中 勝馬	飯本 秀夫	中尾 昌廣	金房 眞悟	大東 英壽	柿野 義直	熊谷 みえ子	原田 和美	中尾 文俊	肥喜里 和隆		浦山 公明
みやこ町公共下水道条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
みやこ町公共下水道事業受益者負担金に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
みやこ町農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
みやこ町農業集落排水処理施設分担金に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
みやこ町給水条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
みやこ町営給水施設条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
みやこ町保健・福祉・コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
みやこ町立やまびこ診療所診察費及び手数料条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
みやこ町重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町道路線の認定（新規路線 森手・今地線、八反田・初山線）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町道路線の変更（居屋敷・八反田線、峰・中園線、野口・八反田線、皆見・大塚線）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町道路線の廃止（皆見・三ツ塚線、皆見・用尺線、皆見・峰線）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
指定金融機関の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成26年度みやこ町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
平成26年度みやこ町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成26年度みやこ町水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
備品購入契約の締結（小学校パソコン及びサーバー機器整備）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
工事請負契約の締結（伊良原小・中学校建設工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	可決
アスベスト被害者の早期救済・解決を図る事等を求める意見書（案）（9月議会継続審査分）	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	可決
ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
給付型奨学金制度の創設を求める意見書（案）															継続審査	
「手話言語法（仮称）」の制定を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
暴力団排除に関する決議（案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	否決



議案に対する討論



みやこ町議会議員の定数を定める条例の

一部を改正する条例の制定

賛成

●町の将来を考えると、今後、地方交付税等の収入が大幅に減額される事は間違いのない。さらに、この厳しい財政状況の中で大型の公共工事を行っていかねばならない。このような中で、議会としても定数を2名削減し町民の皆さまの理解を得るべきだ。

●合併当時に比べると少子高齢化が進み、人口が約2300人も減少となった。みやこ町としては収入を増やし、支出を減らし、行政のスリム化を実施していると考ええる。このような行財政改革が行われている今こそ、協力し議員として我が身を切る改革から実施していくべきではないのか。

●みやこ町の将来の財政基盤の礎となる行財政改革の推進を、職員定数削減という痛みを感じるような方法でいいのか。近隣の自治体の議員定数を見ると、行橋市が21名、苅田町が16名である。人口規模が類似する築上町では、議員定数が次の選挙から14名と2名の削減をすることで決定している。みやこ町としても、町民の声に真摯に対応していくべきではないか。

●苅田町においては区長連合会より「議員報酬の20%カット」「議員定数を4名削減」等の要請が出ており、築上町では次回の選挙から議員定数が2名減となる。みやこ町としても避けて通ることのできない議案であり、十分な審議を行うため、継続審査とすべきだと考える。しかし採決となった以上、住民から削減の声が上がる前に定数を削減し、議会改革を自ら示すことこそが重要と考える。

反対

●議員を削減すると、町民の多様な意見を市政に反映する機会を減らす事となる。また、新人が立候補しにくくなり、立候補の意思をくじく事となるのではないか。さらに議会改革調査特別委員会の中でも、十分な議論がされていない状態である。経費節減の点から見れば、議員歳費と執行部三役の報酬の一部を削減してはどうか。

●議会は住民の代表機関であり、重要な責任を負っている。行政のチェック機関、監視機関という自らの役割を縮小していく事は、住民の声が反映されにくくなることに繋がるのではないかと。まず、住民の方からの「議員としての役割を果たしてほしい」という問題から取り組むべきだと考える。

●議会は行政への監視機能の発揮が重要な役割であるが、現在の議会では、行政に対する監視機能が若干不足しているのではないかと。行政の問題は山積みであり、危機意識が足りない。議会機能が低下しないように、日々努力を重ね、研鑽を重ね、力を付け、高いレベルの迫力のある議会としていくべきだ。削減については、環境が整った時期に再度実施するべきである。

●今後のみやこ町を支えていくのは、次世代の若者だと確信している。若者の選挙離れが深刻化している中、議員定数の削減を行い、ハードルを高くすることは、町民が立候補する事の意欲を削ぐことになるのではないかと。少しでも多くの若者が「町を守る」「町を支える」、こういった思いを持って議会という場所に打って出て欲しいという思いから、今一度議論を交わし検討するべきだと考える。

みやこ町集会所条例の一部を改正する

条例の制定、他消費税に係る議案

反対

消費税が8%となり、景気はますます悪化している。このような中で内税方式にする、消費者は消費税の負担そのものが実感できなくなるのではないかと。

平成26年度みやこ町一般会計補正予算(第5号)

賛成

今回の補正の中身については、人事院勧告による人件費や、学校教育に直接関わってくるスクールバスの購入費など、必要な経費である。

備品購入契約の締結

賛成

小学校備品整備事業に係る備品購入であり、パソコン及びサーバ機器の買い替えをするものである。学校現場では急激な技術革新が行われており、国際化が進んでいく中で、絶対必要なものである。

工事請負契約の締結

賛成

●伊良原小・中学校建設工事の入札は、物価、資材の値上がり等で過去三度不調になっている。今回、やっと無事に落札し、工事を開始することができる。

●地域の皆さま方もやっと思いが叶ったという気持ちだと考える。一日も早く学校完成への努力をして頂きたい。

●伊良原小・中学校の建設は、伊良原、帆柱地区の生き残りや活性化を図るための重要な施策である。



委員会審査報告

総務・産業建設・文教厚生常任委員会及び、議会改革調査特別委員会に付託された主な議案の内容や審査概要を報告します。

今回、消費税増税に伴う各公共施設等の使用料等条例について、町民に分かりやすいように使用料等を現行の外税表示から消費税を含む総額表示に変更すべきと議会が指摘した結果、執行部より使用料等条例の一部改正する議案が数多く提案され、各常任委員会に付託されました。使用料等金額に変更はないので、ここでは、審議の内容は省略します。

今回の3を補填)を申請し、認可されたので、不納欠損処分を行うものである。

Q 償還推進事業の今後の見込みは。

A 現在、県へ2件申請中、債権の内容を精査し、償還推進事業がある間、申請していきたい。

Q 今後、不納欠損処分がないように、徴収に努力していただきたい。

総務常任委員会(12月8日)

住宅新築資金等貸付金に係る債権を不納欠損処分

昭和51年貸付分で、債務者が、無資産・高齢・生活困窮、また、連帯保証人の死亡等により、償還が見込めないため、県の償還推進事業(債権の4

福岡京築農業協同組合へ

指定金融機関が変わります

町の指定金融機関を、みやこ町合併時の協定書に基づき、西日本シティ銀行と農協を3年毎に交代させ、平成27年4月から3年間は、指定金融機関として福岡京築農業協同組合を指名するものである。



会計窓口

Q 現状は、どのようなになっているか。また、今後の方針は。

A 西日本シティ銀行が指定金融機関として勝山本庁・豊津支所に入り、犀川支所には農協が入っている。

今後については、西日本シティ銀行、農協と協議を行うが、今の協定書に基づいて行きたい。

4月の県知事・県会議員選挙費及び町会議員選挙費へ590万円補正

4月の第2日曜日に予定さ

れている県知事・県会議員選挙へ410万円(全額県費)、第4日曜日を予定している町会議員選挙へ180万円、3月分までの選挙費用を補正するものである。

Q ポスター掲示板は併用するのか。

A 県知事・県会議員選挙と町会議員選挙の間が2週間しかないので、前回同様に併用する。

産業建設常任委員会

(12月5日)

四季犀館食堂建設へ運営資金500万円を貸し付け

四季犀館がみやこ町でしか食べられないメニューを提供する食堂を建設するにあたり、みやこ町物産直売所運営資金貸付要綱に基づき、四季犀館に500万円を貸し付けるものである。

Q 500万円貸し出しの必要性は。

A 食堂建設の事業費は、3000万円程度であり、今現在、四季犀館には、資金として3000万円あるが、この全てを食堂建設資金に充てると、手持ちの運営資金がなくなるためである。



四季犀館

Q 食堂建設の内容は。

A 駐車場内に、60㎡程度の食堂(客数20名程度)を建設し、併せてエントランス広場に、100㎡程度のテントを常設するものである。(次ページ上段へ続く)

Q 地元の既存食堂の客が減ることが懸念される。建設の必要性は。

A 現在の直売所は、競争が激化しており、魅力ある店づくりを行い、集客力をつけることが必要である。

Q 駐車場が少なくなる影響は。

A 現在よりも2台分減るが、今後の動向を見て、考えて行きたい。

町営住宅等入居時の連帯保証人を1名に変更

町営住宅・伊良原定住促進住宅・若者向け賃貸住宅の入居の際に必要な連帯保証人を2名から1名に変更し、近隣市町村に住所地のある方も可とするものである。

Q 連帯保証人の効果は。

A 入居者自身の連帯保証人に迷惑を掛けられないという責任感と住宅使用料の滞納が生じた場合の債務の引き継ぎが主なものである。

Q 滞納が生じた場合の、連

帯保証人へ対応は。

A 現在、徴収対策課において連帯保証人へ通知を行っているが、今回、連帯保証人を2名から1名にするにあたり、建設課としても、早めに滞納者及び連帯保証人へ、随時通知していきたい。

Q 近隣市町村の範囲は。

A 京築地域を対象に考えている。

文教厚生常任委員会 (12月8日)

放課後児童クラブ

小学校6学年までを対象に

子ども・子育て支援法に基づき、平成27年4月から子育て支援新制度がスタートするにあたり、放課後児童クラブの設備及び運営に関する基準を新たに定める条例を制定するものである。

Q 現行との違いは。

A 現在は、犀川・勝山地区で小学校1年生から4年生までの受入れを行っているが、

平成27年4月以降は、小学校6年生までの受入れを行うことが大きな違いである。現在、受入れ体制の整備を行っている。また、豊津地区においても新しく児童クラブを開設する方向で検討している。



今後の児童クラブは

Q 定員を40名とするとなっているが、小学校6年生までになると、定員を超える可能性がある。その対策は。

A 国の提示に沿って、みやこ町も1ユニット40名で計画しているが、利用者が増える場合は、2ユニットの形で対応するように考えている。

伊良原小・中学校用スクールバス購入へ360万円補正

伊良原小・中学校のスクールバスのルート開設に伴い、14人乗りのハイルフを購入するため360万円を補正するものである。

Q 専任の運転手を配置してはどうか。

A 現在の犀川地区のスクールバスは犀川タクシーに運営を委託している。伊良原小・中学校のスクールバスは、27年度以降に運営を開始するが、今後検討したい。

Q 利用者の見込みは。

A 現在の伊良原小・中学校は児童が7名、生徒が6名であり、27年には、中学生が全員卒業するので、人数が減ってくると思われるが、児童生徒の交通手段を確保するため、新設したいと考えている。

Q 運行ルートは。

A ルートについては確定していない。伊良原地区の子どもはもちろん、町内から伊良

原小・中学校に来る子どもたちに乗ってもらうような運行を考えている。



伊良原小・中学校建設現場

介護保険事業特別会計

保険事業勘定へ

1億6千万円追加補正

保険事業勘定歳入歳出予算に、1億6千万円を追加補正し、総額23億1601万2千円とするものであり、当初見込みより、居宅介護・施設介護サービス給付費や特定入所者介護サービス費の利用が高齢化の伸びにより増加したためである。

(次ページ上段へ続く)

水道事業特別会計

828万円追加補正

収益的収入及び支出に828万円を追加補正し、総額4億7733万1千円とするものであり、豊津浄水場急速ろ過機ろ材入替工事費730万円が主な支出である。

意見書を国へ送付

・ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書
ウイルス性肝炎、特にB型・C型肝炎患者の蔓延は、国の責任であることは明確。よって、ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設することなどを求めるものである。

・手話言語法(仮称)の制定を求める意見書
聴覚障がい者が、手話による豊かな文化を享受できる社会の実現を目指し、手話に関するあらゆる施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、手話言語法(仮

称)の制定を求めるものである。

・アスベスト被害者の早期救済・解決を図る事等を求める意見書

アスベスト被害者と遺族が生活できる救済の実施とアスベスト被害の拡大を根絶する対策等、アスベスト問題の早期解決を求めるものである。

議会改革調査特別委員会 (12月11日)

みやこ町議会議員の定数削減は否決される

現在の議員定数16名から、次の選挙において、地域の状況や人口規模等を勘案し、2名削減し14名とするもので、議員発議(提出者1名、賛成者1名)により提出されたものである。(提出者の意見)

・近隣の築上町も、平成27年度議員選挙において、14名に定数を削減している。町

民から削減の要請があれば、議会として混乱を招くと思いい、今回、町民からの要請がある前に提出した。

また、議会改革調査特別委員会の中で、議員定数についての議論を行って欲しいとの思いもある。

(主な意見)

・選挙まで4ヶ月しかない。この時期に、なぜ提出するのか。また、このような重要案件は、一議員の考えではなく、全員協議会等で協議した上で提出することが、民主主義の議会ではないか。

・提出者の意思はわかるが、この特別委員会だけで決められない。全員協議会等で十分に議論すべきである。
・議員定数の削減は、いずれはやらなければならない。出すのであれば、次の選挙後に議会改革調査特別委員会等で協議し、提出すべきである。

・この時期に提出することは、次に立候補する人たちの足

止めになる。

・議員定数を削減するだけでは、議会の活性化にならない。経費的な面での削減であれば、議員、執行部3役を含めて、歳費の削減を検討すべきである。

・合併し、議員の数は48名から18名、16名と削減されてきている。町の面積も大変広がっている。議員の顔が見えないとの町民の声もある。そのような中で、議員を削減することは、対執行部の問題に関しても、大変厳しい状況になる。

委員会付託を省略した議案

追加議案として提出され、委員会付託を省略した議案を説明します。

(契約の相手方)

東芝ITサービス株式会社
九州サービスセンタ
福岡市博多区博多駅前
1・4・1

(履行期限)

契約の効力の発生の日から
平成27年3月23日まで

工事請負契約の締結

・伊良原小・中学校建設工事
(契約金額)
10億4706万円

(契約の相手方)

松尾建設株式会社
北九州支店
北九州市小倉北区下道津

(工期)

5丁目9番4号
契約の効力の発生の日から
平成28年2月1日まで

備品購入契約の締結

・小中学校備品購入(パソコン及びサーバー機器整備)
(契約金額)
2573万6400円

暴力団排除に関する決議

みやこ町議会として、暴力団の存在しない福岡県の実現に向け、あらゆる暴力団排除活動を全面的に支援することを宣言するものである。

議会の活動を報告します!

みやこ町議会では、開かれた議会の一環として、議会活動の内容を広く町民の皆様に理解していただくために、次のとおり議会活動を報告いたします。

平成26年 第6回みやこ町議会臨時会議案議決結果及び議員別議案賛否一覧表

議案名	議員名	橋本真助	柿野正喜	中山茂樹	小田勝彦	田中勝馬	飯本秀夫	中尾昌廣	金房眞悟	大束英壽	柿野義直	熊谷みえ子	原田和美	中尾文俊	肥冨和隆	浦山公明	議決結果
工事請負契約の締結 歴史民俗博物館改修工事（展示ケース、収蔵庫）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
工事請負契約の締結 歴史民俗博物館改修工事（建築）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
工事請負契約の締結 歴史民俗博物館改修工事（電気設備）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
工事請負契約の締結 歴史民俗博物館改修工事（機械設備）		×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
平成26年度みやこ町一般会計補正予算（第3号）		×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	可決

議長は、採決に加わらない。
○は賛成、×は反対。



（歴史民俗博物館改修工事 請負契約の契約金額）
 ・展示ケース・収蔵庫工事 1億1988万円
 ・建築工事 6587万3520円
 ・電気設備工事 6384万9600円
 ・機械設備工事 4881万6千円
 ※工期は全て、契約の効力の発生の日から平成27年9月30日まで

（一般会計補正予算第3号）
 伊良原小・中学校建設に係る総事業費を、伊良原ダム関連基金や移転補償費を財源として、11億7537万円とするものである。

平成26年 第6回みやこ町議会臨時会を開会
10月20日

議案に対する討論
（一般会計補正予算第3号）

（反対）・学校を観光施設化するような、地域の実情に合わない人集めの為の施設に膨大なお金をつぎ込むことは納得できない。知恵を出し合い、地域の生活を守っていく手段等にお金を使っていくべきだ。

・地元の木材を利用した学校建設であれば、既に素晴らしい学校が完成していたのではないかと。地元業者では施工ができないような設計になったことが大きな問題である。

（賛成）・地元との意見交換の中で、「一日も早い学校の建設を望む」との身を切るような切実なお願いをされた。これ以上学校周辺整備事業を遅らせるわけにはいかない。

・学校を建設することは、ダム建設に伴う地元との合意である。また、地元からは「安藤忠雄さんの設計で、学校を第一に建てて欲しい」という要望が上がっている。

・ダム建設問題が発生して半世紀が経過した。地元の方々は苦渋の選択でダム建設を受け入れ、今日に至っている。また、早期に中学校の体育館を解体し、町道を整備するべきである。

・意見交換会で「安藤忠雄氏の学校で地域を一つにまとめ、力強い伊良原を作りたい」との切実な思いを聞いた。地元の為にも、一日も早く伊良原小・中学校を建設するべきである。

産業建設常任委員会
鳥取県南部町を視察
10月31日

主に竹林整備事業について視察研修を行いました。地域で整備を希望する方には80%の補助率（財源は県の森林環境税）で支援を行っていましたが、事業実施翌年からの5年間は良好な竹林として管理する義務を負うというものでした。

事業実施前後の実績を写真等で確認しましたが、整備後は素晴らしく景観が良いものでした。また、竹材を利用した商品開発も進んでおり、タケノコを干して様々な味付けをした「竹するめ」や、竹の粉で作った土壌改良剤「バンブーパワー」等がありました。

みやこ町の特産品もタケノコです。今後、このような補助事業を利用し、竹林整備や竹を利用した商品開発が実施できればと考えるます。



第58回町村議会議長全国大会

11月12日

都市部では景気回復の兆しが見られるものの、町村は少子高齢化、過疎化の中で依然厳しい状況にあります。「町村のさらなる振興発展を目指して」というスローガンのもと、今後の町村に必要な「道州制の阻止と分権型社会の実現」「議会の機能強化」「農林水産業振興」「中小企業の振興」「少子化対策の推進及び社会福祉対策の強化」「交通及び生活環境の整備促進」等について研修を行いました。

在日米軍再編に係る

6基地関係市町村連絡協議会

11月18日

国は平成19年から千歳、三沢、百里、小松、築城、新田原の6基地において在日米軍再編に係る訓練移転を実施してきました。このような中、基地周辺の住民は騒音などの影響を受けています。地域住民の生活の安定確保を図り、国にしっかりと実情を把握してもらう為、この協議会が設立されました。

今後は「再編交付金の交付期間の延長」「基地周辺市町村への情報提供」「住宅防音工事の助成制度拡大」等を強く要望していきます。

総務常任委員会視察研修

熊本県阿蘇郡西原村を視察

11月13日

現在みやこ町で課題となっている定住促進や、人口の増加について見識を広めるために、中山間地という不利な条件の中、人口が増加している西原村を研修しました。人口増加の主な要因については次のとおりでした。

- ① 熊本市内との連結した主要幹線道路の整備や改良がおこなわれ、熊本市までの交通アクセスが良くなった。
- ② 豊かな自然と農村の静けさ、熊本市から車で30分圏内という恵まれた住環境を求めて、熊本市や都市圏域に勤務する転入者が増加した。
- ③ 民間事業者の宅地造成開発による、新規転入者が増加した。

課題としては、人口が増加する地区の新しいコミュニティによる地域づくりの推進という事でした。

今後のみやこ町といえども、東九州自動車道の開通が、人口増加に繋がってくるものと考えます。そのような時の住居の確保として、民間事業者によるアパートや分譲地の建設等に力を入れていくべきだと感じました。



町村議会広報研修会

11月20日

「住民に読まれ議会活動が伝わる」

議会報の基本と編集技術

講師 芳野 政明氏

読みやすく、重要な情報が伝わる議会報を作るための方法やページ構成について研修を受けました。現在は地方議会の改革が進んでおり、議会広報の役割も変わってきているという言葉を聞き、「議会だより みやこ」も住民に近づく第一の手段として考え、今まで以上に住民の方に読んでもらう為、紙面を充実させていかなければならないと感じました。



筑豊横断道路建設促進期成会中央要望

11月26日

東九州自動車道の開通により、北九州都市圏や大分県との交流も活発となる事が予想されます。このような中、国道201号線みやこ町仲哀トンネルから行橋ICまでの区間の早期ルート決定は最も重要な事だと考えます。地域の発展の為に、一日も早い交通体系の整備を地元選出国会議員へ要望してきました。

築城基地周辺整備に係る要望行動

12月25日

今後の地方の役割は、更に重たくなってくるものであり、国との関わりも密接でなければなりません。このような事から築城基地周辺整備の充実強化や、今後のみやこ町の更なる発展のために、石破茂地方創生・国家战略特別区域担当大臣、武田良太衆議院議員へ、要望行動を行いました。



第6回伊良トピア祭



第9回みやこ町産業祭よってこ屏祭 in みやこ



東九州自動車道年度内開通予定記念ウォーキング



錦町花街道フェスタ2014

月日	件名
10月1日(水)	航空自衛隊築城基地追悼式
10月3日(金)	祓郷小学校研究発表会
10月4日(土)	ふれあい運動会(町立保育所)
10月6日(月)	全員協議会
10月7日(火)	常任・議運委員長・副委員長研修会
10月8日(水)	京都郡町議会議長会 新年度予算打合せ会議、伊良原小・中学校建設についての意見交換会
10月10日(金)	広報特別委員会
10月11日(土)	第18回崎山ひまわり祭り
10月12日(日)	第21回みやこ町陸上競技大会「白川力記念」、第6回伊良トピア祭
10月14日(火)	第3回福岡県市町村職員退職手当組合議会臨時会
10月16日(木)	広報特別委員会
10月18日(土)	第4回上本庄元気まつり、みやこ町古墳まつりinさいがわ
10月19日(日)	第8回みやこ町文化月間記念発表会「展示会、芸能祭」
10月21日(火)	みやこ町新年のあいさつ会実行委員会、広報特別委員会
10月23日(木)	福岡県町村議会議長会第一部会、暴力団追放地域決起会議・豊前築城地区地域安全運動推進大会
10月25日(土)	みやこ町老人クラブ連合会スポーツ大会
10月28日(火)	京都郡議会研修会、東九州自動車道の開通記念植樹
10月29日(水)	京都郡議会研修会、平成26年度「秋月藩士」墓前法要(139回忌)
10月31日(金)	福岡県町村議会議長会理事会、監事会
11月1日(土)	伊良原小・中学校学習発表会、みやこ町秋花火
11月2日(日)	第7回みやこ町B&G杯剣道大会
11月7日(金)	京都郡中学校教育研修会指定 研究発表会
11月10日(月)	地方議会活性化シンポジウム2014、第23回全国市議会議長会基地協議会九州部会総会
11月15日(土)	第9回みやこ町産業祭よってこ屏祭inみやこ 開会行事
11月16日(日)	みやこ町文化協会犀川エリア作品展示会、芸能発表会、第9回みやこ町産業祭よってこ屏祭inみやこ 閉会行事
11月23日(日)	東九州自動車道開通記念マラソン開会式、年度内開通予定記念ウォーキング
11月24日(月)	みやこ町歴史文化カレッジ特別講演会
11月27日(木)	年末年始特別警戒活動出動式
11月30日(日)	築城基地航空祭祝賀会
12月1日(月)	福岡県町村議会議長会正副会長会、第3回理事会
12月6日(土)	第9回みやこ町人権のつどい
12月7日(日)	第68回京都郡駅伝大会、錦町花街道フェスタ2014
12月13日(土)	今川スマートインターチェンジ完成式
12月14日(日)	みやこ町ふれあい餅つき大会
12月19日(金)	みやこ町社会福祉協議会理事会、京都郡議会議長・議会事務局長会議
12月21日(日)	第9回みやこ町愛郷音楽祭
12月22日(月)	伊良原小・中学校建設工事安全祈願祭

※12月定例議会等の本誌に掲載されているものは除いています。



夫 秀 員
飯 本 議

Q 地域で採れた果物や野菜を積極的に使用する動きの中で、イチジクソースを開発し、学校給食でも好評であったことが認められ、今回受賞の運びとなったことは、大変名誉なことだと考える。更なる飛躍を期待して学校給食用農産物の生産方法等について尋ねる。

A 積極的に取り組んでいることは、数字を見れば十分理解できる。しかし、もう一歩踏み込んで、独自の栽培基準等を設け、児童生徒の食育を図ってはどうか。

A 地元農家が栽培した市場向け農産物を使用するだけではなく、農家との繋がりをもった中で食育の実践を行ったらどうか、との指摘について



みやこ町学校給食センターが九州農政局長賞を受賞

A Q みやこ町学校給食センターが九州農政局長賞を受賞 より安全、安心ということを目指して、さらに先へ進みたい

は、徐々にではあるが農協を介して実施した。
先日勝山ネギ部会の皆さんに、センターの調理実態を視察して頂き、共に生産から調理に至るまでの改善点等について検討した。
今後は有機栽培を視野に、契約栽培を委員会の中で農協等に相談する。

Q 農地流動の円滑化を求める
A 農地流動化政策の一環として、県単位で農地中間管理機構を設立しているが、高齢化による離農が加速している現状で、農地の貸借問題は、町行政での窓口対応が必要不可欠と考えるがいかがか。

Q 防災意識の向上を
A 防災マニュアルやハザードマップは、各戸に配布されているが、適正な防災組織の存在が無ければ、用をなさないと考える。
また、2組織をモデルとして防災訓練をしているが、その波及効果を問う。

Q 必要なことは十分に承知しているが、農業委員会の事案なので、相談しながら農業委員会を軸とした窓口の開設に努めたい。
Q 生産者米価は低迷し、反して農業機械等の生産コストは年々上昇している。このような中で変わらない小作料に受託農家は苦しんでいる現状がある。町が設定できない事は承知しているが、受委託者双方の協議会を設立する事は可能か。

A 町みずからは禁止をされているが、農業委員会を中心として策定することは可能なので、働きかけをおこなう。
A 地域の特性を考慮しながら、避難誘導訓練並びに地域内での共助について実証した後に、組織育成を図る。
指摘の土砂災害警戒区域や洪水による浸水想定区域は、全世帯に知らせているが、改善に対する町の関わり方は検討したい。



上木井地区防災訓練の様子

Q

協働の地域づくり・まちづくりについて問う

A

モデル地区を決め、地域担当職員を配置し取り組む



田中 勝馬
議員

地域担当制

職員による地域担当制の進捗状況は。

12月にモデル地区6カ所の行政区の設定及び担当職員の割り当てが完了。地域の常会から参加させる事とし、改良を行いながら全町的に広げたい。

(今回のモデル地区) 崎山、

花熊、下久保、上黒田一、錦

町、東甲塚

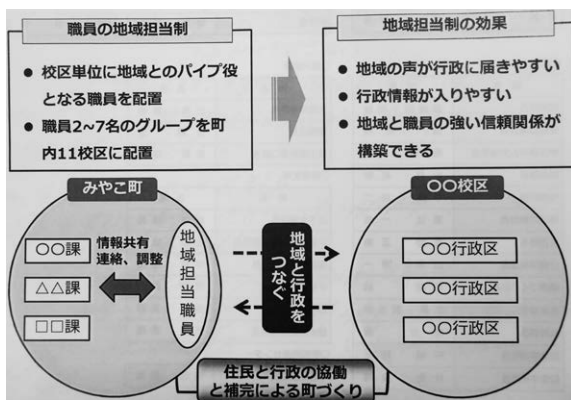
地域担当職員の役割は。

地域課題を共有しながら、それぞれの役割と責任のもと連携・協力し、協働のまちづくりを推進する。

職員の配置と担当期間は。

管理職、係長職及び一般

職員4名程度で構成し、担当期間は1年間という形で考えている。



地域担当制が始まります

男女共同参画社会の進捗状況は

我が町の行政施策に積極的に女性の声を反映させる事が必要ではないか。

町政に女性が積極的に参加することの重要性については同意見であり、女性管理職の必要性も十分感じている。今年の2月に女性の活躍推進福岡県会議において、女性の活躍推進宣言を行い登録した所である。

女性管理職登用拡大の目標は。

平成31年度までに女性管理職(課長補佐職以上の職)の割合を5%以上に。管理職登用拡大を目指すとして、係長以上を15%以上の目標に取り組む。

各委員会や審議会への女性の登用を進めるため、クオータ制、つまり女性を一定以上の割り当てをする事を条件化できないか。

各委員会や審議会を

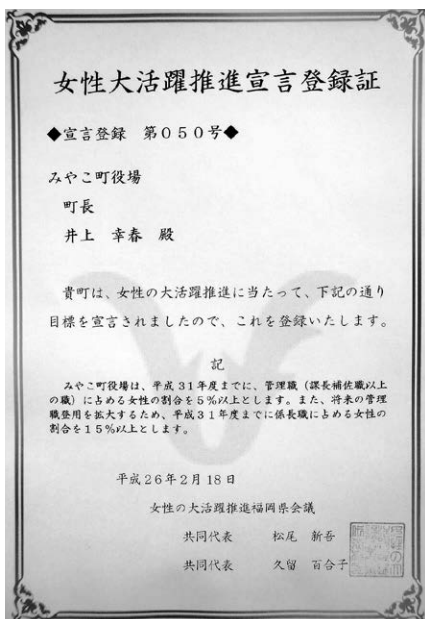
設置する場合、委員総数の10分の4未満にならないように努めなければならないとなっているが、達成できていない。今後、町の重要な課題として目標達成に向け努める。

町の新たな財源確保

歳入確保の一環として、町の資産を広報媒体として有効活用してはどうか。財源を確保することにより、住民サービスの向上及び地域経済の活性化にも繋がるものと考えられる。

公用車の有料広告、封筒

や各種申請用紙への掲載を検討する。有料広告は、単に財源確保だけでなく、みやこ町のPRにも繋がるので、できるものがあれば、積極的に実施したい。



女性管理職の登用は



柿野正喜 議員

有機農業の取り組みについて

環境にやさしい農業を拡大していきたい

Q 環境保全 生態系の保護の環境保全という観点でも、有機農業に対する評価は多様であるが、平成18年に有機農業の推進に関する法律が制定され、地方公共団体も、責務として有機農業の推進を図ることになっている。みやこ町における有機農業の推進計画及び現状を伺う。

A 今年度、化学肥料・化学農薬の低減と自然環境の保全に資する農業生産活動の取り組みを支援する国の環境保全直接支払対策を活用し、法人を含めた4農業者が、約16ヘクタールの圃場で取り組んでおり、有機農業も含めた環境にやさしい農業を拡大していきたいと考えている。

Q 有機農産物とは、体に良い食べ物である、耕作に手間暇がかかる、反当りの収穫量が少ない等のイメージがあるが、町長は、どうイメージされているか伺う。



有機農業の推進を

A 化学肥料を使わず、オーガニック的な農業をやるべきではないかと、我が家ではオーガニック農業をやっているが生産すると、なかなか量が少ないので、やむなくおふくろも、化学肥料を時々使っているが、理想はオーガニックではないかと考えている。

Q 産業建設常任委員会でも申し上げたが、プレミアム商品券を有機農産物の限定版として活用し、有機農業者を育てる考えはないか伺う。

A そういった考え方をしたことがなかった。申し訳ない。

救急車活動体制

Q 救急活動は、1分1秒が結果を左右するが、みやこ分署及び勝山出張所に配備の救急車の活動体制の充実にどのように対応するのか伺う。

A 負傷者の救命率をアップさせるためには、住民等が行う迅速な応急処置が不可欠なので、住民に対する応急手当の普及のための普通救命講習や救急講習を実施している。また、勝山出張所の配置人員が従来の体制から3名の減に

なるので、京築広域圏の消防長と相談し、平成27年4月を目途に再任用隊員で補充を検討している。

Q 平成24年4月から3名減になっているが、なぜか伺う。

A 救急救命士等の養成をしなくてはいけない。既に救急車には常に救急救命士の配備をすることがあったので、その研修等も兼ねてやってきた事が、こういう状況に繋がったと思っている。

京築広域圏消防本部火災・救急出動状況

市 町	平成26年		平成25年	
	火災	救急	火災	救急
豊前市	9	1,385	13	1,601
吉富町	3	312	3	301
上毛町	4	384	2	338
築上町	9	932	6	956
みやこ町	13	1,119	17	1,207
管外	0	2	0	4
合計	38	4,134	41	4,407

Q

今後の大型公共工事について問う

A

中長期計画を立て進めていく



中山 茂樹
議員

Q 今後みやこ町が計画している、大型公共工事として旧豊津地区の町営住宅の建て替えや、旧3町の学校再編整備計画による小中学校の建設等多くの工事がある。公共工事を行う事により雇用が拡大し、町に活気をつけるべきだと考える。これらの公共工事を前に倒して、消費税が上がる前に取り組むべきだと思うが、町長の考えを問う。

A 確かに消費税の上がる前に、こういった事業はやらなければならぬが、その財源をどこから持つてくるのかと思考している。町の財源を考えたうえで5年先10年先を見据えた中長期計画を立て町づ

くりを進めていく必要がある。交付金の減少もこれから起こる。そういう中で本当に厳しい状況を考え町づくりを推進したい。



今里にある町営住宅建設予定地

針 伊良原小・中学校の教育方針

Q 伊良原地域は過疎地で、生徒数は少ないが、素晴らしい教育の成果次第では数年後、あるいは十数年後には、教育内容が評価され生徒が増加する事を期待している。町の教育委員会として、今後の伊良原小・中学校の指導方針を尋ねる。

A (教育長) 新しい学校は

小、中の施設一体型の校舎として整備するの
で、小中学校9年間の継続性を生かした小中一貫教育に取り組みたいと考えている。

校共通的

目標を「自分を待つ明日へジャンプアップ」とし、夢を見つけ、夢に向かって努力し、夢を実現しようとして力強く歩み出す子供を9年間で育てたい。児童生徒が将来、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を育成するキャリア教育の充実に取り組みたい。その中心として、町の豊富な力をいれたい。

な教育資源を生かし、様々な体験学習を充実させ、自分の生き方を探らせていく教育活動の充実を考えている。具体的には農業体験、林業体験、製造や研究など企業や大学などの先進的な技術体験、医療や福祉に関する体験などが取り入れられないかと考えている。合わせて英語教育にも

平成28年4月開校予定
みやこ町の新しい小中一貫教育学校の校名(総称名)を募集します

【新校舎イメージ図】

みやこ町教育委員会

伊良原ダム湖畔に誕生する新しい学校は、9年間の継続性を生かすため、小・中学校の施設が一体となった小中一貫教育学校として開校します。

この新しい学校にふさわしい校名(総称名)を、多くの皆様から募集します。たくさんのご応募をお待ちしています。

みやこ町の皆さんが、親しみを込めて呼ぶことのできる「小・中学校を一つの学校として呼ぶ総称」(例えば、〇〇学園、〇〇学院、〇〇館、〇〇校、〇〇小中学校 等)を募集します。

【応募要項】
・応募資格：だれでも応募できます。但し、一人1点に限りです。

・募集期間：平成27年 1月5日(月) から 2月13日(金)まで(必着)
※ 校名(総称名)が採用された方には後日連絡し、賞金3万円を贈呈いたします。
※ 採用された校名(総称名)に、複数の方が応募されていた場合は、抽選といたします。

特色のある学校教育を



熊谷みえ子
議員

介護保険料の減免を 求める

A 平成27年度から29年度の第6期高齢者 福祉計画策定委員会の中で策定中である

要支援者等の現状把握及び 予防給付の取組みは

Q 安倍内閣のもと、介護制度のかつてない大改悪がされている。「医療・介護を中心に社会保障給付について、『自然増』も含め聖域なく見直し、徹底的に効率化・適正化していく」と宣言。要支援者へのサービス切り捨てをすることなく介護環境の充実を

図る事。「地域医療・介護総合確保推進法」は、「要支援

1、2と認定されて介護サービスを受ける人の8割が利用する、ホームヘルパーによる訪問介護、デイサービスなどの通所介護を保険給付から外すとしている。要介護状況はどのようになっているか。
A 要支援1が266名、要支援2が195名で全体の

35・4%となっている。町が実施する総合事業へ移行する予定。訪問介護及び通所介護が介護予防給付から町が実施する総合事業へ移行される方向で見直しを行っている。

事業費には上限が定められ、超えた場合は、その分を町が負担する。現在、介護給付費の2%が上限である。

Q 負担が大きくなり、保険料が払えなくなることで、滞納者を生むことになる。制度改革の中、住民負担にならない方策を考えること。

A 福祉は人であり、人材の確保、ノウハウを積み重ねていくことで、心のこもった介護サービスができるのではないか。

A 包括支援などの問題も含めて、元気に暮らせるためには、どうしたらいいか、社会福祉協議会と連携しながらやっていきたい。



包括支援センター窓口

教員の多忙化が浮き彫りになった

Q 中央教育審議会の特別部会は10月31日に小中一貫教育学校の制度化のまとめで教職員の多忙化、負担増など課題が示されている。制度化に根拠がないことが浮き彫りになった。教育の機会均等の侵害、批判も出て

いる。導入の必要性をみずから否定する矛盾に満ちた内容となっている。国の課題についての考えは。

A (教育長) 平成27年1月の最終答申に向けて、協議中。小中一貫教育に対する御指摘の課題や懸念については、3中学校区における小中連携教育の推進、伊良原地区の小中一体型の学校での実践の中で検証し、課題解決できるように努めてまいりたい。



教員の多忙化が課題に

Q 町づくりの基本姿勢は

A 人口減問題など私たちの未来は変えることができる

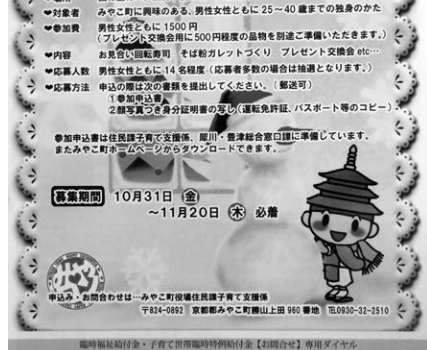


柿野義直 議員

Q わが町の人口の実態は。
A 高齢化率33・5%で県内5位。年少人口（0～14歳）の割合は11・0%で県全体の13・5%より低い（25年10月）。少子高齢化が浮き彫りとなっている。

Q 人口の将来予測は。
A 日本創成会議の報告では2040年には1万2923人へ60%も減少する衝撃的なもの。20歳から39歳（出産年齢）までの女性も60・4%減少する。

Q 系統的に分析し対策を



これまで以上に人口増に向けた施策を

Q 総合政策課が総合計画策定などで問題を分析している。
A 住宅問題、働く場の問題などさまざまな要因があるが、高校生まで親元で暮らし、進学や就職で転出することも1つの原因。

Q 対策は。
A 若者の出会いサポート事業、結婚や出産の祝い金制度、高校生までの医療費支援など積極的に行っている。若者向け住宅も完成させた。

Q 中長期的な財政運営について
A 25年度末で支払金利1億4000万円（借金105億円）に対して、受取金利1200万円（積立基金123億円）だ。今の財政運営は借金をして基金に貯め込み大型工事を計画している。これでは地元の業者には仕事がまわらない。銀行や大手企業、町外業者を儲けさせることになる。町民サービス向上や町内業者に仕事が回るように政策方針を切り替え町内でお金が回るようにする必要がある。

Q 高齢化、少子化、過疎化対策などに積極的に取り組むにはそれ相応の費用が必要である。そのために基金積立している。
A 学校現場の改善は

Q 教員が生徒と向き合える時間を充実し確保するには、教員の置かれている超過勤務の実態や多忙化などの問題を改善することが必要だと認識されている。この問題解決のために進展があったのか。
A （教育長） 県教育委員会が、わが町の20名の教員に勤務実態の調査を行った。校長会議で定時退校日を設定し徹底することを強く指導した。6月時点での教員不足問題は解消した。だが、希望する講師の人材不足で緊急な病気休暇などの代替教員の配置は今後も困難が継続する。

Q これでは超過勤務や多忙化の解消策にならない。調査内容を公表して解決を急げ。町独自の勤務実態調査も行うべきだ。
A （教育長） 県費負担の教員ということで、県の方針にのっとってやるべきだと思う。教育委員もそれを受けて対応したい。



教員と生徒が向き合える時間の確保を



中尾 文 俊
議 員

今後のデマンドタクシーの運行は できるだけ早めに町内全域で 運行させる

Q デマンドタクシーが当初予定されていた勝山全地域で運行されていない理由は。特に犀川地域は谷も深く広範囲で高齢者の通院や買い物、支所への交通手段も無く、タクシーを利用してはいる。高齢者福祉の観点から犀川地域こそ必要と考えるが。

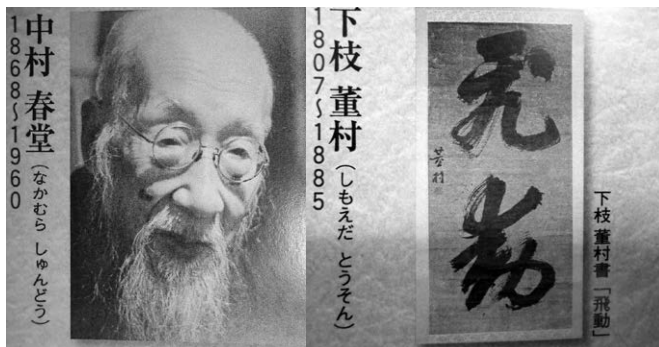
A デマンドタクシーは交通手段として有効である。勝山地区は国の手続き等で遅れている。ご指摘のように犀川地域も早期に考え、できるだけ早期に町内全域で進める。
支所機能の充実を
Q 本庁機能の移転で、豊津・犀川は総合窓口になる。支所窓口で町民の用件等に対応できる体制が必要である。また、高齢者の本庁への送迎ができる職員配置など、支所



町内全域でデマンドタクシーの実施を

Q みやこ町には様々な分野の先達がいる。特に、書道では仮名文字の中村春堂（豊津田中出身）、漢字の吉原古城（犀川内垣出身）、かずら筆で有名な小笠原藩書道指南の下枝董村（木井馬場に居住）と

機能として人的配置も含め考慮すべきと考えるが。
A 支所で事務処理できない場合の緊急時には送迎をしてきた。今後も体制を整える。各支所では、書類発行や受付業務は、今と同様のサービスを考えている。人員も地域や業務に精通した配置を考える。
みやこ町書道大学の新設



書道で地域おこしを

著名な書道家がいる。顕彰や書道の普及と書を通じて地域おこしとして活用すべきと考えるが。

A（教育長）みやこ町ゆかりの3名の書道家は、誇れる先人であり、11月の改装後の歴史民俗博物館で書道展の企画を検討したい。地域おこしとして、観光協会や文化協会と協調を進める。

将来の財政展望

Q 数年で地方交付税の減額や特例債の制限など将来の財政は厳しくなる。将来に備えて無駄の削減をすべきである。しかし、住民福祉や子育て支援などは充実すべきである。私たち議会は、執行部・職員のみを求めるのではなく、自ら考えるべきである。定数削減議案は時期を得たものである。執行部・議会が日本一元気なみやこ町の礎を、今築くべきと考えるが。

A 地方交付税等の減額が間近であり、経常経費の縮減が求められる。少子高齢化に伴う経費等は増加している。適正化計画で職員の減員を進めているが、住民サービスが低下しないよう職員が柔軟に対応できる組織を目指す。執行部と議会が一緒に元気なみやこ町を造ることが必要であると考え。

Q 町財政の見通しは

A 行政推進委員会で検討し削減に努める



金房眞悟
議長

Q 人口は減り、高齢化社会の到来により財政は厳しい。当初予算は大であるが中身が見えない。各支出の「費用対効果」に真剣に努力すべきでは。億単位の設計費用、90台の公用車、消耗品、光熱水費等節減にどう務めたか。

A 工事費設計については、県発行単価、歩掛を適用した。経常経費は、給食センター独立（事務用品、備品、公用車）等新設のため増えた。今後庁舎が統合されれば、公共施設の統廃合等、行政推進委員会で検討し削減に努める。

Q 限界・消滅自治体等の用語が生まれる中、本町も極めて

て厳しい。若者のUターン運動を強く起こすとともに地場産業、現在地元で振興の産業、農業を初めとし、建設業、商工業、「買物は町内で」をモットーに町民一丸となって町内業者の発展に努めるべきだ。

A 国の地方創生は、法案の成立を受け取り組む。Uターン運動も、その一つである。企業誘致への取組み、信頼される町政、町民の立場に立ち、町民目線で町政を進める。

Q 雇用の確保、税收の増加等、町発展と活性化の更なる取り組みを。

A 企業誘致は町の課題である。現在、みやこ町企業連絡協議会において、町と町内企業の連携を深め協力体制を構築していることから、既に立地している企業の仲介による関連企業の進出も含め、1件でも多くの企業誘致につなげたい。



企業誘致の推進を

Q 国道201号線の整備は、国道改良事業は本議会で数回お尋ねし、更には旧勝山町時代にも陳情のため上京する等、町民念願の事業である。町長も陳情のため上京しているが、具体的な進捗状況は。

A 国道201号線勝山地区内道路は、筑豊と周防灘臨海工業地帯を結ぶ唯一の動脈であり、基幹道路である。1日も早いルート決定を待ち望むが、ルートそのものは、まだ白紙の状態である。

過疎対策について

Q 職員の地域担当制が開始されたが、今、町民の信頼感が薄い、町民の協力が無ければ、何もできない。選抜された職員であろうが、どう指導されているのか。

A 課長連絡会等で注意喚起をする。



国道201号線の早期整備を



橋本 真助
議員

Q ゾーン30への取り組みを

A 通学路の見直し改善、一層の安全確保に努めていく

Q 交通安全への取り組み、各地域の通学路の問題や見直し、改善はどう考えているか。

A (教育長) 豊津インターの開通による祓郷小学校の児童の登下校の影響が課題と考えている。交通量の変動などの情報収集をするため見守り活動の強化をする。

Q 国土交通省は緊急合同点検等実施要綱を設けている。文部科学省、国土交通省、警

察庁と3つの機関が連携して

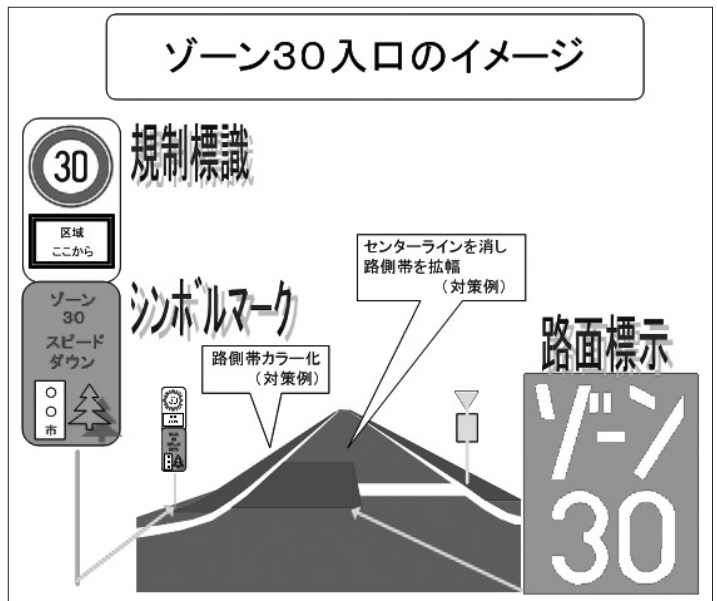
あらゆる通学路の改善を対策するようにしている。それに

伴い本町でも歩者分離式信号や、横断歩道前の止まれステッカーなどの対応をするべきでは。近隣市町村の実積等を踏まえて検討するべきでは。

A (教育長) 指摘の内容を含めて、通学路の見直し改善、一層の安全確保に努めていく。

ゾーン30とは

自動車事故抑止のため、市街地の住宅街など生活道路が密集する区域を指定し、その区域での車の最高速度を時速30キロに制限する交通規制。



通学路の見直し、改善を

A (教育長) 9月議会終了後に、学校長、サッカー部顧問、指導者、父母会と会議を

Q 犀川中学校サッカー部のバス運用についてどう改善したのか。

A (教育長) 子どもたちにとって身につく指導になるよう努めていく。

A グをするべきでは。危険から自分を守るためのトレーニングを教育委員会が推進するべき。

Q 危機管理体制の確立。教育委員会は万が一に備え議論している。そのなかでその現場に立つ児童生徒が自ら危険予知トレーニング

した。事故に備えての、保険の加入、運転手に責任が及ばないための契約をして、万が一に備えた。

町有財産について

Q 国作の町有地の分譲計画の遅れ等についての今後の方針は。販売後のクレーム等を予測し、ノークレームで低価格での売却を。

A クラックの原因について調査した。路床改良後の期間不足が原因とみられている。27年度に再舗装をしたうえで早急に販売に着手したい。

Q 財産処分に関して、議会承認のいかない案件の報告等について、面積だけで金額が把握できない。また、財産処分における広報や住民への周知が毎回同じではない。今後の対応は。

A 今後の財産処分については反省点をふまえて計画的に処分を進めるとともにあらゆる周知を考えていく。

Q

豊津地区町営住宅の 建て替えはどうなっているのか

A

本年度中に建設用地の選定を 実施したい



原田和美
議員

Q 旧豊津町の住宅建て替えは、町長の任期中に出きるのか。

A 今ここで任期中に出きるかという確約はちよつと難しい。

Q 町営住宅の空き家状況について問う。

A 豊津地区の住宅戸数が430戸であり、空き家戸数が122戸。勝山地区の住宅戸数が322戸であり、空き家戸数が51戸。犀川地区の住宅戸数が231戸であり、空き家戸数が73戸。

道路行政

Q 育徳館前道路拡張工事と通学路設置工事について問う。

A 今年度は一部用地を確保



町民が安心できる道路整備を

し、平成27年度に育徳館より豊津椎田線まで順次工事着手する。

産業廃棄物の処理

Q 産業廃棄物の処理状況は。

A 産業廃棄物の不法投棄等は、京築保健事務所と連携し、事態を把握した後に行橋署に通報している。

Q 補助事業で購入した車で不法投棄等をした場合の対応は。

A 問題が確認された場合は、事業実施主体へ調査及び再発防止の指導をしている。

高齢化社会

Q 町全体の65歳以上の方の率及び旧町ごとの率を問う。

A みやこ町の人口は2万1091名で高齢化率は、33.5%。福岡県内での高齢化率は、上から5番目になっている。(平成26年4月1日現在)。

旧町ごとの高齢化率は、勝山地区30%、豊津地区が32.2%、犀川地区が39%となっており、高齢者対策をしつかり進めて行きたいと思っている。



高齢者に優しい町づくりを

みやこ町の財政問題

Q 滞納額及び今後の対策を問う。

A 一般会計の滞納額は1億

6700万円、特別会計の滞納額は1億1170万円となっている。

Q 町有地の払い下げ方法について問う。

A 平成22年の時は、町広報紙に載せた。今回はインターネットと掲示板で周知し実施した。

Q この土地を払い下げするに当たり、土地鑑定士を入れて調査したのか。

A 鑑定士は入れていない。

Q 行政が土地を購入する時は、鑑定士に調査させているではないか。今回は、なぜしなかったのか。

A みやこ町有財産審査会で審査をしていただいた。

Q 旧豊津の時に、この土地の購入額は1813万1000円で購入しているが、払い下げ金額は1080万円である00万円も町民に損害をあたえている。誰が責任を取るのか。

A 財源確保のために、町所有の土地等を処分して財源に充てる。



大 東 英 壽
議 員

Q 3町合併から8年が過ぎた。私も消防団員として旧犀川町の時に27年間勤めさせていただいた。消防の活動が、火災はもとより風水害等、昼夜を問わず行われていることは十分に承知している。しかし、以前より地区によって高齢化が進み、団員の確保にも苦慮している状況がある。みやこ町の消防費の予算は、

A 広域消防費を含め、5億円を超えた年度もある。また、近隣市町村の消防団員の数を見ると、みやこ町の団員数は多すぎると思う。町の消防団再編の考えを問う。
A みやこ町の消防団再編計画は、平成26年度から平成28年度までを第二次計画期間としている。最終的な消防団員の定数は、消防団長1名、副

Q 消防団再編の進捗状況は

A 当初から比べると約100名の減となっている



消防団の今後の再編は

団長2名、方面隊長3名、分団長11名、副分団長11名、部長45名、班長90名、団員374名、合計537名としている。計画当初から比べると約100名の減となっている。

Q 人口減少に対するみやこ町の今後の対応について

A みやこ町も旧3町が合併し、あつという間に8年が経過した。現状を見ると、合併時より2000人以上の人口が減少している。町として方策を打たなければ、現在の町長の任期中に人口が2万人を割ると思われる。やはり、人口減に歯止めをかけるのは、住む所と働く場所が必要条件である。若者向け住宅が、ようやく1カ所建設された。今後、多くの建設を望む。

今回、強く言いたいことは、多くの分譲地の建設と企業誘致である。平成26年12月13日には、東九州自動車道が豊津インターまで開通し、立地条件も整いつある。企業誘



犀川地区にある若者向け住宅

致が進んでいる所は、担当課や担当係が必ずある。我が町も企業誘致等に対して総合政策課等に担当を配置する考えはあるのか。

A 企業誘致や宅地分譲には、専門的な民間のノウハウが必要であり、専属的な体制を整える必要があるのでは、ご提案は一考すべきものと思われる。また、来年度の庁舎統合に向けて、機構の見直しも考えていく。

Q

農林業の後継者や新規就農者への対策はいかに

A

新規就農者の呼びかけを実施していく



中尾 昌 廣
議 員

Q 近来、少子高齢化社会が進んでおり、過疎化が問題となっている。今後は消滅集落などが増えてくる。日本創成会議なるものが、全国896市町村が消滅し、吸収合併を余儀なくされる等々の報道をしている。全国津々浦々の町村が模索に模索を重ねており、解決策が見い出されていない事が現状ではないだろうか。みやこ町も似たような状況であり、農林業の撤廃が増え、農家の高齢化が進み、後継者がいないため、山林どころか田畑も耕作出来ない地域が、今非常に多くなっている。その為、放棄地が多くなり、稲作に重要な水口、井堰など

Q 近外からの新規就農者については、就農を呼びかけた結果、町外より1名を受け入れることとなった。9月から山町農業支援センターにおいて研修に入っているところがある。

Q 201号線の行橋から本庁に來る道路筋の放棄地は草ぼうぼうで非常に景観が悪い。みやこ町の玄関先であり観光面でも失礼である。早急な対策を。

A その状況については、現場を見ており、遺憾である。

Q 今現在、農業に携わっている人は、60歳から80歳までの人が主である。若者就農者等が裸一貫で来ても就農できる対策が必要であるが。

に草が生え塞がることにより、大災害をもたらす可能性も考えられる。また、放棄地は鹿やイノシシの隠れ場となっていると聞く。総合的な対策を。

A 青年就農給付金等を活用し、新規就農者の確保に努める。

町外からの新規就農者については、就農を呼びかけた結果、町外より1名を受け入れることとなった。9月から山町農業支援センターにおいて研修に入っているところがある。



荒廃竹林の早期整備を

A 少しでも荒廃竹林が減っていくような町にし、竹細工の復活等、何かそういう所も考えた町づくりを進めて行きたい。



これからの農業はどうなるのか

A 就農初期の受入れを支援する為、農業者育成施設を設置し、現在2名の育成に活用されている。支援を拡大できないか検討する。

Q 竹林整備事業

Q 森林環境保全税を竹林整備事業に使うことはできないか。今現在、森林環境保全税を使って、森林組合に間伐や伐採を依頼しているが、その効果は。

A 地主が出来ないところを実施しているが、その木材の搬出はできない。しかし今後必要と考える。

Q この環境税で、山林ではなく、竹林の整備事業もできないか。竹林を整備することで道ができれば、肥料が撒け、しっかりとしたタケノコができる。竹の加工品としての竹するめや土壌改良剤など他町に先駆けて、この事業を進めていただきたい。



小田 勝彦
議員

A Q 勝山地域の防災行政無線は取り換えの時期では 平成28年度にデジタル化の更新を進める

Q 勝山地域の防災行政無線が整備され14年が経過、個別受信機での受信が雑音状態になっており、現在では正確な情報が伝わらない。対策について問う。

A 受信状態に影響が出ている状況である。現在はアナログ波を使用しているが、電波のデジタル化が必要と認識している。

Q 今後の対策については。

A 犀川、豊津地域はデジタル化しており、本庁に設置している親局のシステムを統合する。今後は、電波調査を行い防災無線のデジタル化を含め更新する予定である。

Q デジタル化更新の時期については。

A 平成27年度に電波調査及び実施設計を行い、平成28年

度に勝山地域のデジタル化更新を進める。



勝山地区の無線の早期整備を

行財政改革について

Q みやこ町行政改革推進委員会の答申をどのように受けとめているか。

A 町民の皆様の税の負担が少なくなるような行財政改革を進めていかなければと思っ

Q 答申書のなかで重点項目の一つに挙げられている公共施設の見直しや、統廃合の計画は実施されているのか。

A 老朽化が激しく利用も少ない施設は解体や用途変更を行っている。

Q 解体や用途変更された施設はあるのか。

A 犀川老人憩いの家は解体し、豊津学習等共用施設は用途変更をしている。また、ゆいの郷についても庁舎機能の充実を図るため、平成27年3月末をもって廃止とし、庁舎別館として活用することを考えている。



犀川老人憩いの家の跡地

Q 福祉、文化、体育施設の今後の管理運営についてはどのように考えているのか。

A 「みやこ町公共施設のあり方に関する基本計画」を策定中であり、同じような機能

を持つ施設の運営について総合的に検討を行っている。

Q 同じような機能を持つ施設の維持管理費、改修や修理費で財政を圧迫しているのではないか。

A 現状では少しずつ町民の皆様に理解を得られ、本当に必要なのかという声も大きく上がってきている状況である。こういう数字を皆様にご理解をいただいで改革を進めて行きたい。

※施設に係る維持管理費
(平成25年度決算による)

◎本庁舎 2610万円

◎支所及び出張所 3403万円

◎入浴施設 7447万円

◎公民館 2157万円

◎サン・グレートみやこ 2196万円

◎図書館 6523万円

◎体育施設 8242万円

がんばっちよる

錦町花街道フェスタ

「町の元気は地域から！」

花を植えることから始めた錦町花街道も、早いもので10年を経過しました。今では、納涼祭での盆踊り大会や秋の花街道フェスタを実施するほか、子どもたちを対象とした芋掘り体験やフリーマーケットなど徐々に活発化してきています。また、昨年は初めての試みとして納涼祭での竹灯篋や、大晦日にグラスキャンダルを灯しました。



古紙回収やバザーなど、収入の確保にも努力しておりますが、みやこ町から「ゆめづくり事業」の補助金をいただくようになってから、より積極的に活動をする事ができるようになりました。フェスタでは、バザーや餅つきを始め、合唱やダンスのステージイベントなど盛りだくさんの内容で、町内外からの多くの方に足を運んでいただいております。



これらの活動は他地域のイベントと比べても小さなものですが、花が与えてくれる安らぎと癒し、水やりなど花を育てることによる「近所との素敵なコミュニケーション」を図っています。花の力と

様々なイベントを通して地域内の絆をより深めることにより、みやこ町の元気なまちづくりの一助になればと思っております。イベントの時はお知らせいたしますので、ぜひ遊びに来てくださーい！



連絡先

錦町花街道友の会

会長 石山 邦雄
副会長 白川 周司

TEL 33-33935

議会の傍聴において下さい。

※住所氏名の記入だけで傍聴することができます。
3月定例会の招集日は2月24日となっております。詳細については、ホームページや防災無線等でお知らせします。
本会議中継を本庁及び各支所ロビー設置のテレビでも放映いたしますのでご覧ください。

議会広報特別委員会

発行日：平成27年2月1日

発行：みやこ町議会

〒824-0892 福岡県京都郡みやこ町勝山上田960番地
TEL0930-32-2511 (内線301・302)
FAX0930-32-4563

編集：議会広報特別委員会
印刷：(有)京都印刷

編集後記

寒中お見舞い申し上げます。

昨年12月の衆議院選挙は、戦後最低と言われた2012年に行われた衆議院選挙の投票率59%をさらに下回り52%となり、最低の投票率で自公連立政権が大勝しました。

その結果、安倍内閣が継続しますが、一刻も早く東日本大震災の復興と、東京電力原子力発電所の放射能被害が解決することを願います。

震災により仮設住宅に住む事を余儀なくされた被災者の方々が、落ち着いて住める場所を、政府が早く整備する事を強く要望いたします。

また今年は、さらに景気が良くなり、一般の国民も景況感を感じられるようになります。世の中が明るくなることを祈念いたします。

(中山)

